

第45期
中間株主通信

平成23年4月1日～
平成23年9月30日

To Our Shareholders ● 株主の皆さまへ

土木・建設分野の切削技術関連事業を経営の機軸として、
新規事業にも取り組み、持続可能な多角展開を図ります。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたびの東日本大震災によって被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一刻も早い復興をお祈り申し上げます。

ここに、第45期第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)の事業の概況をご報告申し上げますとともに、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、本年3月の東日本大震災による原発事故や電力不足の影響が、生産・流通・設備投資・個人消費など幅広い分野で全国に波及しました。土木建設業界におきましても災害防止を重点に緊急対策が図られましたが、政府による緊急支援策や復興予算が決まらず、復興計画が迷走したため復旧に伴う需要は低水準に推移しました。

このような環境の中、当社グループはやがては顕在化する復興需要に備え、工業ダイヤを応用した機器の販売と施工方法の立案・提言を展開しましたが、現状は未だ検討段階に推移し、大きな受注には繋がっておりません。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は37億77百万円(前年同期比4.3%減)となりました。利益面におきましては、販売費及び一般管理費の一層の削減に取り組んでまいりましたが、工事の先送りなど売上減少を補えず営業損失は2億21百万円(前年同期は営業損失1億27百万円)となりました。また経常損失は2億17百万円(前年同期は経常損失1億20百万円)となり、四半期純損失は法人税等調整額を94百万円計

上したことなどにより、3億33百万円(前年同期は四半期純損失1億55百万円)となりました。

株主の皆さまのご支援にお応えすべく鋭意努力してまいりましたが、以上のような決算状況により誠に不本意ながら中間配当につきましては、前回と同様に実施を見送らせて頂きたいと存じます。

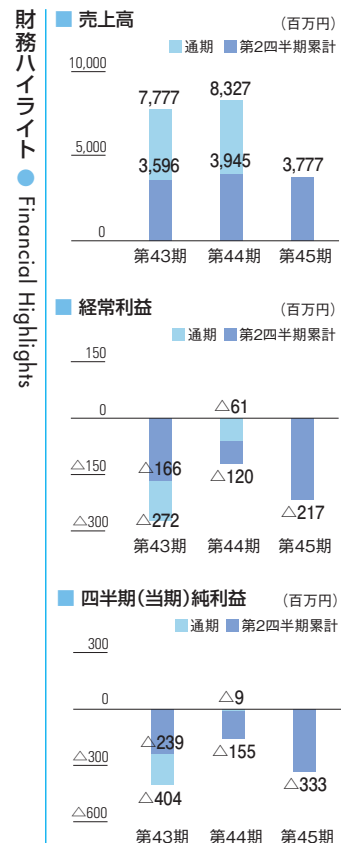
通期の見通しにつきましては、電力不足問題や円高による為替変動等の不安要素は残るものの、東日本大震災復興予算も概ね決定する見通しとなり、景気は着着きを取り戻し徐々に復興へ向かうものと予想されます。土木建設業界においても計画予算を確定し、東日本を中心に復旧工事が本格化し需要拡大が見込まれます。また、防災意識は全国に波及し補強工事が活発化してきたことから当社グループといたしましては需要の流れに俊敏に対応し、当社グループの特性を活かした提案営業を更に強化して受注獲得に総力を挙げてまいります。また、新規分野である半導体切削用の機器・材料の売上も本格化し、業績向上に資する段階となります。

今後も中核である切削事業の豊富な経験と技術開発力を応用して、土木建設分野では耐震補強工事の提案営業を強化します。一方では、土木建設分野以外へも積極的な製品開発を展開し、業績回復並びに伸長に努めてまいります。更に販売費及び一般管理費の徹底的な削減を継続し、利益を産出しやすい体質の強化を実行してまいります。

株主の皆さまにおかれましては今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



取締役社長 吉本 文雄

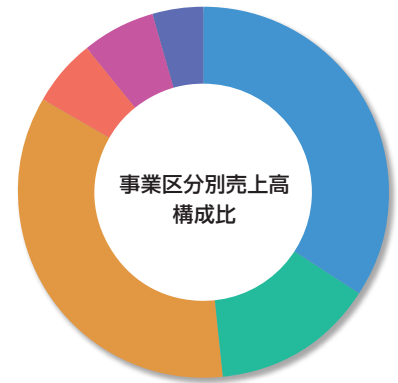


Segment Review

● 事業区分別の概況

事業区分別売上高等は以下のとおりです。

事業区分	売上高	営業利益	売上高構成比	前年同四半期 売上高増減率
■ 切削機具事業	1,293 百万円	15 百万円	34.2%	△ 6.3% ↓
■ 特殊工事業	540	△ 6	14.3	△ 8.7 ↓
■ 建設・生活関連品事業	1,317	△ 22	34.9	0.0 ↑
■ 工場設備関連事業	225	△ 15	6.0	△ 19.3 ↓
■ 介護事業	238	△ 25	6.3	19.4 ↑
■ IT関連事業	163	△ 10	4.3	△ 8.4 ↓
合 計	3,777	△ 63	100	△ 4.3 ↓

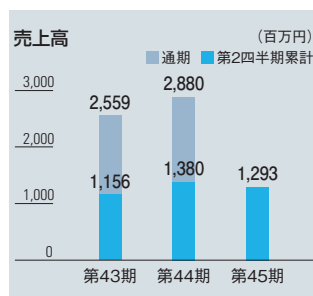


● 切削機具事業	34.2%	● 工場設備関連事業	6.0%
● 特殊工事業	14.3%	● 介護事業	6.3%
● 建設・生活関連品事業	34.9%	● IT関連事業	4.3%

(注) 1. 上記金額は外部顧客に対する売上高であり、セグメント間の内部売上高は含まれておりません。
2. 金額及び比率は、表示単位未満を四捨五入しております。

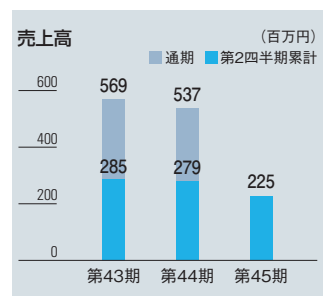
切削機具事業

震災復興工事に備えコアドリルやワイヤーソーの売上は順調でしたが、マンホール耐震化消散弁の取付工事など実需工事が先送りとなりダイヤビット等の消耗品の販売が伸びず、売上高は12億93百万円(前年同期比6.3%減)、営業利益は15百万円(前年同期比77.4%減)となりました。



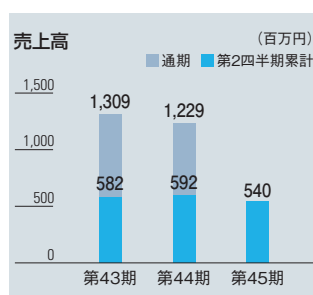
工場設備関連事業

東日本大震災による原発事故に伴う電力需要の抑制などの影響で民間設備投資が大きく後退し、自動制御盤・配電盤等の受注が減少し、売上高は2億25百万円(前年同期比19.3%減)、営業損失は15百万円(前年同期は営業利益2百万円)となりました。



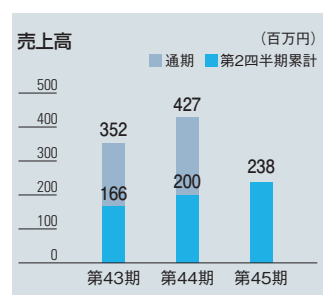
特殊工事業

橋梁や学校などの耐震補強工事は、ほぼ前年並みに推移しましたが、東日本大震災の復興需要は現地調査や計画見積もりが先行する中、工事は検討段階にとどまったため主要な受注に繋がらず、売上高は5億40百万円(前年同期比8.7%減)、営業損失は6百万円(前年同期は営業利益45百万円)となりました。



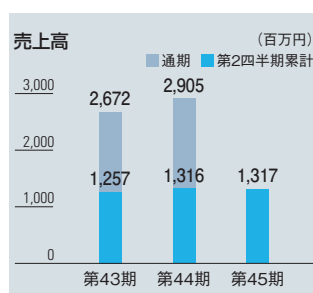
介護事業

高齢者専用賃貸住宅の入居率が順調に上がり、デイサービス利用者も増加したこと等で、売上高は2億38百万円(前年同期比19.4%増)、営業損失は25百万円(前年同期は営業損失46百万円)となりました。



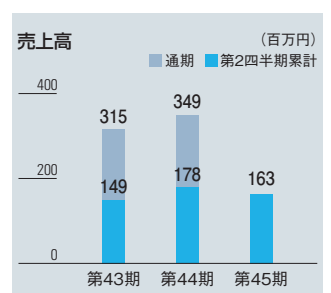
建設・生活関連品事業

安全具や防災機具類の販売が増加しましたが、住宅設備関連の工具や資材は前年並みに推移し、売上高は13億17百万円(前年同期比0.0%増)、営業損失は22百万円(前年同期は営業損失6百万円)となりました。



IT関連事業

東日本大震災による電力需要の抑制等の影響でIT設備投資需要も後退し、全体需要の低下と厳しい競争環境が続く中、売上高は1億63百万円(前年同期比8.4%減)、営業損失は10百万円(前年同期は営業損失22百万円)となりました。



Topics



半導体切削用機器類の販売が本格化

半導体材料の加工には、その目的・用途に応じて多種多様な機能を持つ機器類が開発されて来た経緯があります。中でも、当社は長年蓄積してきた切削技術分野のノウハウを活用して、近年需要が高まっている合成サファイア(LED基板材料)加工用の縦型コアリングマシンVCMシリーズを開発いたしました。本装置はサファイアウェーハ加工用インゴットをダイヤモンドコアビットで、「高速」かつ「高精度」に削り出すことができる特徴を持つ高性能のコアリング装置で、コアリング外径は2インチから6インチまで対応可能です。

需要として韓国、中国の半導体及び半導体材料メーカーを中心に、日本国内にも受注が拡大しています。

Consolidated Financial Statements Point ● 連結財務諸表のポイント

四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

	当第2四半期末 平成23年9月30日現在	前期末 平成23年3月31日現在
流動資産	4,095	4,622
固定資産	6,166	6,200
有形固定資産	5,444	5,471
無形固定資産	74	88
投資その他の資産	648	641
資産合計	10,261	10,821
流動負債	2,600	2,767
固定負債	1,020	1,058
負債合計	3,621	3,825
純資産合計	6,641	6,997
負債、純資産合計	10,261	10,821

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

	当第2四半期(累計) 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	前第2四半期(累計) 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
売上高	3,777	3,945
売上原価	3,003	3,071
売上総利益	774	873
販売費及び一般管理費	995	1,000
営業損失(△)	△ 221	△ 127
経常損失(△)	△ 217	△ 120
四半期純損失(△)	△ 333	△ 155

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

Corporate Profile ● 会社情報

会社の概要 (平成23年9月30日現在)

社名 株式会社コンセック
(CONSEC CORPORATION)

本社所在地 広島市西区商工センター
四丁目6番8号
TEL(082)277-5451(代表)

設立 昭和42年11月6日

資本金 40億90百万円

従業員数 連結:423名 単独:236名

ホームページ <http://www.consec.co.jp/>

連結子会社

祥建企業股份有限公司(台湾・三重市)

北斗電気工業株式会社(広島県呉市)

南通康賽克工程工具有限公司(中国・江蘇省南通市)

株式会社サンライフ(広島市西区)

株式会社デンサン(広島市南区)

主な事業内容

【切削機具事業】

穿孔・切断機器、ダイヤモンド切削消耗品等の製造および販売

【特殊工事事業】

アンカー工事、コーポーリング・カッター工事、ワイヤーソー工事等

【建設・生活関連品事業】

建設機械・工具、住宅・生活関連機器等の販売

【工場設備関連事業】

自動制御盤、配電盤等の製造および販売

【介護事業】

デイサービス、ケアプランサービス、介護付有料老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅

【IT関連事業】

ソフトウェア受託開発、人材派遣

役員

代表取締役会長 佐々木 秀 隆

取締役社長 吉 本文 雄

取締役 千 田 稔

取締役 福 田 多喜二

取締役 原 田 文 栄

取締役 三 中 達 雄

常勤監査役 國 本 純 男

監査役 廣 本 邦 幸

監査役 山 下 哲 夫

ネットワーク

支店 東京、大阪

営業所 札幌、仙台、横浜、名古屋、

岡山、広島、高松、福岡、

他21ヶ所

事業所 貿易グループ

工場 広島工場

物流センター 広島配送センター

株式の状況 (平成23年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 28,600,000株
- 発行済株式の総数 18,640,112株
- 株主数 1,378名
- 大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日本 鋳 泉 株 式 会 社	2,692,000株	14.7%
佐 々 木 秀 隆	1,994,000	10.9
コンセック従業員持株会	796,592	4.4
株 式 会 社 も み じ 銀 行	583,200	3.2
株 式 会 社 損 害 保 険 ジャパン	434,000	2.4
山 戸 通 彰	432,000	2.4
株式会社ライフステージやまと	405,000	2.2
岡 田 純 子	327,176	1.8
株 式 会 社 ゲ イ ビ	320,000	1.8
朝 日 生 命 保 険 相 互 会 社	314,000	1.7

(注) 1. 当社は、自己株式を386,103株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

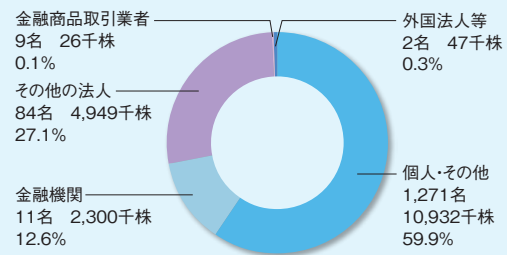
株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 期末配当金受領株主確定日 3月31日
- 中間配当金受領株主確定日 9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777(通話料無料)
- 上場証券取引所 大阪証券取引所 JASDAQ(スタンダード)
- 公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.consec.co.jp/>
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

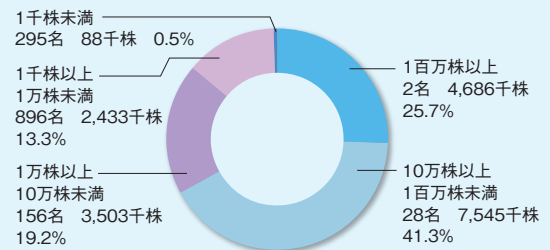
(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱い出来ませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店で支払いいたします。

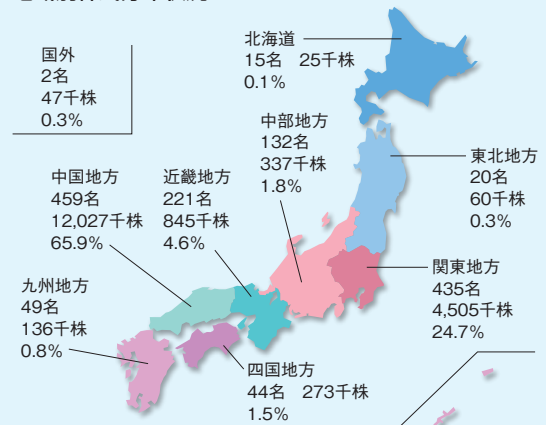
所有者別株式分布状況



所有株式数別株式分布状況



地域別株式分布状況



(注) 上記株式分布状況には自己株式(386,103株)を除外しております。

ホームページのご案内



当社のホームページでは、株主・投資家の皆さまに対して、企業情報や財務情報について、積極的に情報開示を行っております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。

ホームページアドレス <http://www.consec.co.jp/>